

平成28年6月24日

浜田市議会議長 西田清久様

議員名 芦谷英夫



調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究活動を行ったので、その結果を報告します。

記

- 1、期 間 平成28年6月7日（火）
- 2、調査内容 益田市と島根県古代文化センター・国立歴史民俗博物館など
との共同研究など調査のため
- 3、調査先 益田市役所（益田市文化財課）
- 4、調査経費 浜田市⇒益田市⇒浜田市（自家用車使用）
ガソリン代 1,270円
- 5、調査研究活動の概要
別紙のとおり



益田市と島根県古代文化センター・国立歴史民俗博物館などとの

共同研究など調査のため

平成28年6月24日

- 1 日 時 平成28年6月7日(火) 9時00分～10時15分
2 場 所 益田市役所(益田市文化財課)
3 相手方 益田市文化財課長 木原 光 同課長補佐 桐木 恵子
 専門員 長澤 和幸

4 調査で明らかになったこと

- ① 益田市は28年度～30年度まで、国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)との共同研究を行っており、高津川下流域の城、古い地名、道、寺や神社、屋号などを調べることにより、中世の荘園での領主益田氏と領民との支配関係などを明らかにするとしている。
- ② 同じく益田市は26年度から28年度まで、島根県古代文化センター、東京大学史料編纂所との共同研究を行っており、テーマは「石見中世領主の盛衰と東アジア海域世界～御神本一族を軸に～」としており、御神本氏が益田荘に移り益田氏と改め周布氏・三隅氏・永安氏・福屋氏など庶子家の分出によって、島根県西部を治めたことの足跡を明らかにするとしている。
- ③ 上記②について県古代文化センターでは、ほとんど残っていない周布家史料として、日脚町天井岡八幡宮と内村町高井ヶ岡八幡宮などの調査を行い、棟札などの写真撮影、解読などを行っている。
- ④ 益田市では県への28年度重点要望事項として、中世益田及び中世石見国に関する総合的な調査研究を推進する県研究機関の整備を要望している。

5 所 見

- ① 浜田市では平成31年に浜田開府400年を控え、開府に至るまでの中世は、益田氏を頂点とする国人領主、武家支配の時代であり、この地方の支配構造や歴史などを明らかにし、開府400年事業として位置付けることは重要である。
- ② 浜田市の市域は浜田藩と津和野藩があり、浜田藩成立以前の益田氏総領家と、庶子家「三隅氏」「周布氏」「福屋氏」「永安氏」などとの支配関係、歴史を整理することは重要となる。
- ③ 上記4の①の調査研究の成果は、浜田市にある「三隅氏」「周布氏」「福屋氏」「永安氏」についても同様と考えられ、調査研究の成果を活用することにより、浜田市分の庶子家の概要も明らかになる可能性がある。
- ④ 上記4の②③については、益田氏の支配と庶子家の被支配関係、浜田市分の治世の概要、庶子家間の争いなどを明らかにすることで、浜田藩成立以前の支配構造などが推察できる。
- ⑤ 中世の島根県西部は、益田氏を頂点とする同族支配が長く続き、多くの歴史資源も残っており、行政の連携や共同研究などを進め、より広域的な取り組み、歴史文化事業の推進と情報発信などが必要である。

—以上—